

天命にて

GoogleClassroomを使う日々

北海道札幌啓成高等学校 若林 理一郎

- 1 きっかけ(3年くらい前から)
- 2 Version1(前任校ー2年前)
- 3 Version2(前任校ー1年前)
- 4 Version3(現任校ー4月)
- 5 Version4(現任校ー6月)
- 6 Version5(現任校ー前期期末後～)
- 7 Forms等の設定値
- 8 Spreadsheet 他
最後に(今後の課題)

1 きっかけ(3年くらい前から)

- 板書を書き続けることが難しくなった。
- 授業のフォーマットの確立。
- 数年後には、ICT機器の授業活用—学習機会の保障

2 Version1（前任校ー2年前）

- 3年次主任＋看護医療専修系クラス担任
- まだまだ、黒板は活躍！
- 授業用ワークシートの作成

3 Version2(前任校ー1年前)

- 1年次付き(無役)+ただの教科担任(とてもヒマだった…)
- 黒板はたまに余白を使って書くくらい…
- 授業用ワークシートの作成
- ワークシートとGoodNotesの利用

4 Version3(現任校—4月)

- 1年生担任+数学 I Aを3クラス×5単位(なかなか激しい・・・)
- ほとんど黒板は使わない。
- まだ、生徒のタブレット端末は揃わない—授業では使えない。
- 授業用ワークシートの改訂
- 練習問題のプリント化と星取りノートの提出(現任校の前年度からの取組)

5 Version4(現任校—6月)

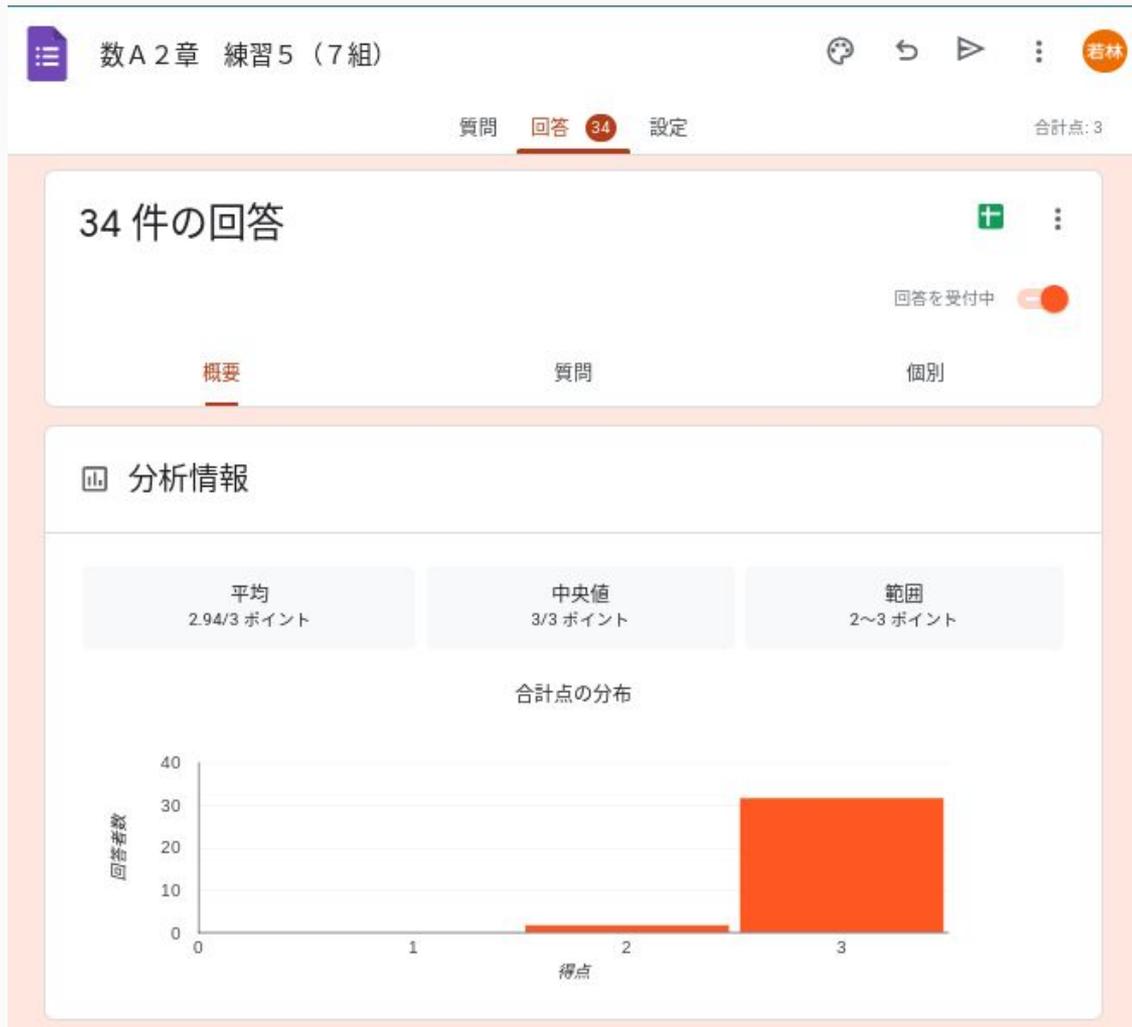
- 95%黒板は使わない。
- 前期中間考査後、全員のタブレット端末が揃う。
- プロジェクタ・スクリーンからMeetへ

6 Version5 (現任校一前期期末後～)

- 99%黒板は使わない。
- Formsの活用(ペーパーレス化と適時性)
- インターネット環境(スクールネット)との戦い？

7 Forms等の設定値

- ・ワークシートで説明
- ・練習問題に取組(指示)
- ・Formsに結果を入力
- ・採点結果を確認
- ・誤答訂正or傍用問題集(自習)



7 Forms等の設定値

・成績の発表 →「送信直後」

・不正解だった質問 → ON

・正解 → OFF(できるまでやる)

・点数 → ON(達成度の把握)

※ロックモード

BYODでは機種の違い → 無意味

数A 2章 練習5 (7組) 🗨️ ↶️ ▶️ ⋮ 若林

質問 回答 34 **設定** 合計点: 3

成績の発表

送信直後

確認後に手動で表示する
[回答のコピーを回答者に送信] と [メールアドレスを収集する] がオンになります

CHROMEBOOK の設定

ロックモード
 回答者は、このテストを受けている間はタブや他のアプリケーションを開けません。また、管理対象の Chromebook を使用してこのテストを受ける必要があります。 [詳細](#) 🔴

回答者の設定

不正解だった質問
解答者はどの問題が不正解だったかを確認できます 🔴

正解
解答者は、成績の通知後に正解を確認できます 🔴

点数
解答者は、総合得点と各問題の得点を確認できます 🔴

全テストのデフォルト設定

デフォルトで質問に割り当てる点数 1 点数
新しいすべての質問に割り当てる点数

7 Forms等の設定値

- ・メールアドレスを収集する → ON(組・番号も入力、必須)
- ・回答の編集を許可する → ON ※次の項目との兼ね合い(自動更新)
- ・回答を1回に限定する → ON ※OFFだと、同じ生徒が誤答訂正のたびに何度も登場

数A 2章 練習5 (7組)

質問 回答 34 設定 合計点: 3

回答

回答を収集、保護する方法を管理できます

- メールアドレスを収集する 回答のコピーを回答者に送信する場合は、オンにする必要があります
- 回答のコピーを回答者に送信
- 回答の編集を許可する 提出後に解答を編集することを許可します
- ログインの必須
- 北海道教育情報通信ネットワーク と信頼できる組織のユーザーに限定する回答者は Google にログインする必要があります。 [詳細](#)
- 回答を 1 回に制限する 回答者による Google へのログインが必要になります。

プレゼンテーション

フォームと回答の表示方法を管理できます

最後に

(今後の課題)

- 授業評価と生徒の自己評価
- タッチペンが活用しづらい
- 一問一答と記述式添削
- ONTIMEでは、動きがカクカク
- ペーパーレス化と自動化
- 採点システムとの連携
- これって、e-ラーニング化？
- 校内での情報共有化・研修